

ほけんだより

谷原中学校
保健室No.9
26. 5. 7

耳、鼻、のどは、呼吸をする、物を飲み込むという、生きていく上で欠かせない役割を持っていると同時に、声を出す、音を聴くなどのコミュニケーションに必要な役割を果たしています。とても大切な器官です。

明日5/8 (木) は耳鼻科検診です!

この3つの器具は、ずっと昔から形が変わらない優れた医療器具です。工夫された器具でみると体の奥がよく見えます。物事も、工夫するともっと奥深くみることもができるかもしれませんね。



耳鼻科検診の器具

「奥をみる」

耳鼻科検診では、学校の検診の中で一番、器具の多い検診です。耳をみる耳鏡（じきょう）はこんな形をしています。



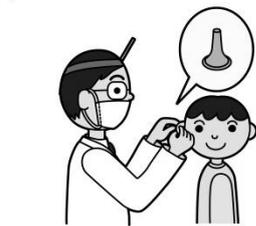
これを使うと光が反射して奥の鼓膜の所までよくみる事ができます。



↑これは鼻鏡（びきょう）といい、鼻の中をみる器具です。つかむと先の所が開いて鼻を広げることができ、曲がった鼻の奥をみる事ができます。



↑これは舌圧子（ぜつあつし）といい、のどの奥をみる器具です。舌をこの板で押さえるために使います。



① 耳の中を見ます。
髪の毛を耳にかけておいて下さい。



② 鼻の中を見ます。
緊張しないで少し上を向く姿勢で!



③ のどの奥を見ます。
大きく口をあけて「あー」と声を出すとのどが開きます。

検査の受け方

耳鼻科検診でよく見つかる病気!

■耳垢栓塞（耳あか）

耳垢がたくさんたまって聞こえが悪くなります。

■副鼻腔炎

鼻がつまって黄色い鼻水が出ます。頭痛も起こります。

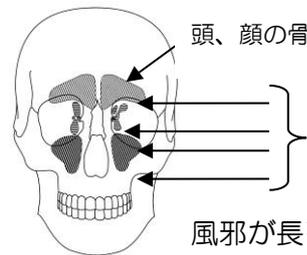
■急性・慢性中耳炎

耳の中にウイルスや細菌が入って突然の痛みがおこります。放置すると浸出性中耳炎となり難聴の原因にもなります。

■アレルギー性鼻炎・鼻かぜ

花粉やダニなどのハウスダストによってくしゃみ鼻水、鼻づまりがひどくなります。

副鼻腔（ふくびくう）とは？



頭、顔の骨 顔の骨の下に空洞があります。

この4つの空洞を 副鼻腔と言います。

風邪が長引いたり、ひどい虫歯をそのままにしていたり、色々な原因で、この副鼻腔にウイルスや細菌が入って炎症を起こします。一度副鼻腔炎を起こすと完治するまで長い時間がかかります。原因となった風邪は治ったのに、副鼻腔炎は長引いているということもよくありますよ。片方又は両方の鼻から黄色い鼻水が出続けたら要注意です!